

# 九名井用水から 勝部遺跡収蔵庫へ



原田井の洗い場



勝部収蔵庫

九名井用水路は猪名川を水源とし、伊丹・尼崎・豊中の9ヶ村に利用されたことから「九名井」と呼ばれました。豊中市側では「原田井」とも呼ばれており、走井・勝部・原田地区を流れています。今回は阪急曽根駅西側の住宅地に残る原田城跡から、九名井用水に沿って、勝部遺跡収蔵庫まで探訪します。

勝部2～3丁目は、弥生時代から平安時代に渡り集落がありました。1967年の空港拡張工事第1次調査時に、方形周溝墓が密集して出土し、近畿地方における弥生時代の墓地の様相を知る貴重な発見となりました。腰付近に石製の剣が刺さったまま埋葬された遺体はよく知られており、今は庄内栄町の郷土資料館に収蔵されていますが、他の木棺墓、土器、石器などは、豊中市指定文化財として勝部遺跡収蔵庫に収蔵されています。

**日 時： 2025年3月26日(水) 10:00~12:00**

**小雨決行**

**集合場所： 阪急曽根駅改札前**

**定 員： 20人**

**服 装： 長袖、長ズボン、歩きやすい靴、日よけ帽子**

**持 ち 物： 飲み物**

**申 込 み： 3月23日(日)までにアジェンダ21へ(先着順)**

**電 話： 06-6844-8611(環境交流センター内)**

**主 催： NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会**

(この事業は豊中市立環境交流センター指定管理事業として実施します)